

女性の発想から誕生した花嫁のれん展

「Oh-God」5人衆

※「Oh-God」とは、女将（おかみ）をもじって、北林昌之一本杉町会長が命名。お「Oh」かみ「God」。



昆布・海産物處しら井
白井洋子さん

鳥居醤油店
鳥居正子さん

花嫁のれん展は、「Oh-God」の5人の発想から誕生した。

十数年前にさかのぼる。5人で観光目的の旅を毎年行き始めるようになった。しかし、いつの間にかどこか物足りなさを感じ始め、人との出会いや、一本杉通りをどうにかしたいという目的意識を持った旅行へと変化していった。まずは自分たちができることは何かを考え始めた。旅行で培った経験から、人の出会いや一本杉での生活、文化や習慣などを表現したものができないかと。

そんな考えを持ち始めたとき、雑誌を制作する記者と5人は仲良くなった。地元の祭りを案内しようと石崎奉燈祭りを案内したとき、記者は家の中に飾ってあるのれんを見て「あなたたちにはのれんがあるじゃない。あのれんはすばらしいですね」と言われ、



❁ 中谷内陶器店
❁ 中谷内政子さん

❁ ぬのや仏壇店
❁ 布 和代さん

❁ 高澤ろうそく店
❁ 高澤行江さん

ふとひらめいた。「私たちが
 できることはのれんだ。のれ
 んなら昔嫁いだときに持って
 きたものがある。のれんであ
 るなにも喜んでもらえるなら、
 これを飾ればいい」と5人の
 気持ちは一つになった。

そこからの行動は素早かつ
 た。地域のことだからと北林
 昌之一本杉町会長に相談。相
 談を受けた北林町会長は「町
 内の人たちにのれんがないか
 を聞き、協力してくれる人を
 募ろう」と即実行に移してく
 れた。手分けして住民に呼び
 かけた結果、のれんが53枚集
 まり、平成16年4月、第1回
 花嫁のれん展が開催された。

5人は口をそろえる。「来
 年は10回目。花嫁のれん展の
 おかげで、住民同士が信頼し
 合い、いろいろな人たちとの
 出会いが生まれました。ここ
 まで来たのは、一本杉の皆さ
 んの協力があったからこそ。
 本当に感謝です」と住民への
 感謝の気持ちは忘れない。

花嫁のれんから生まれた
 「出会いの一本杉通り」は、
 今や全国の人たちが出会いを
 求めて訪れるまでに成長し
 た。

